



御島ゾーン

M I S H I M A

御島ゾーンは、香椎宮の末社で日本書紀にある神功皇后ゆかりの御島神社の鳥居を海上に見ることができるなど、歴史的景観が残された場所となっています。

二年に一度行われる香椎宮「春季氏子大祭・神幸式」御汐井取りの神事を香椎海岸で見られることもできます。

このゾーンでは、これまでに気軽に海にふれ親しめ、豊かな自然が体感できる憩いの空間となるよう海岸や海域を整備しており、多くの人々が集まるにぎわいの場となっています。

さらにアイランドシティと香住ヶ丘をつなぐ海上遊歩道「あいたか橋」の開通により、1周約3kmの周回コースができたこのエリアは、「御島グリーンベイウォーク」の愛称で親しまれ、自然観察やウォーキングなどを楽しむことができます。

歴史的要素を活かした憩いのゾーン

【この地域への交通アクセス】 【公共交通機関でのアクセス】

●「香椎海岸」・「香椎浜海岸」へは

- ・西鉄貝塚線「香椎花園前」下車 徒歩約10分
- ・西鉄バス「イオンモール香椎浜」下車 徒歩約3分
- ・西鉄バス「香椎北公園前」下車 徒歩約1分

●「アイランドシティの外周緑地」へは

- ・西鉄バス「アイランドシティ中央公園前」下車 徒歩約8分

【車でアクセス】

- ・「香椎浜緑地駐車場」150台駐車可能(有料)



アイランドシティの外周緑地



香椎浜海岸



香椎海岸(香住ヶ丘)



香椎海岸(御島崎)

1 香椎海岸(御島崎~香住ヶ丘)

御島ゾーンの海岸線は、海に近づきにくい垂直の護岸となっていたり、浸食が進んでいたりしたことから、傾斜の緩やかな護岸や砂浜の整備など、水辺に親しめる海岸づくりを行っています。今では、多くの方々が憩いの空間として利用しています。

御島崎



整備前

海に近づきにくい護岸



整備後

海を身近に感じ、ふれ親しめる海岸線になりました。

香住ヶ丘



整備前

浸食が進んだ海岸



整備後

海岸部を保全し、景観も美しくなりました。

植物や生きものを探してみよう


【コメツキガニ】

砂浜などに生息するカニで、エサを食べて残った砂を小さな団子状に丸めて巣穴の周りに並べる習性があります。巣穴と砂団子をたよりに見つけてみよう!!


【ハマヒルガオ】

砂浜を生育環境とする植物で、春にかわいい花を咲かせる多年草です。春がきたら階段に広がった緑を目印に花を探してみよう!!

2 香椎浜海岸

香椎浜の前面には、万葉集にもうたわれている香椎潟^{がた}が広がり、たくさんの海の生きものや野鳥がいのちを育む場所となっています。また、海上の御島神社の鳥居を間近に臨むこともでき、歴史や自然を感じられる場所となっています。

護岸は、野鳥や干潟にすむ珍しいハクセンシオマネキ、潮間帯^{ちゅうかんたい}*にすむカニなどの生きものに配慮した構造とするとともに、歴史的要素を活かした整備を行っています。

*潮間帯: 潮の満ち引きにより、海水につかったり、干上がったりする場所。いろいろな海の生きものがすむ。

香椎浜



整備前

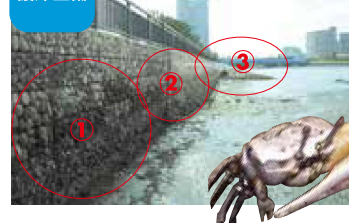


整備後

遊歩道や護岸の整備を行っています。

こんなところをチェックしよう!!

海の生きものの視点にたって整備しました。よく見てみると色々な形をしています。

護岸整備

1 ハクセンシオマネキ

僕たちが暮らしている干潟を乱さないように工夫して工事してね!!

【ハクセンシオマネキ】

オスは片方のハサミが白く巨大化しています。この大きなハサミを振る求愛行動が、白扇^{はくせん}を広げて潮を招いているかのように見えることから、この名前が付いたとされています。

ハクセンシオマネキがすんでいる干潟を傷めないよう、機械をおろさず、作業員の立ち入りもできるだけ少なくして工事しました。


**歴史や生きもの
の紹介**


「万葉集にみる香椎潟」や干潟の生きもの、野鳥を紹介した看板もあります。

2 岩の隙間や干潟の生きもの
3 潮間帯の生きもの

わたしたちのすみかはどうなってるの?



凹凸がたくさんある自然の石を使っていますのでカニなどがすみやすくなっています。また、生育環境が選べるよう、急な斜面(写真①②部)と潮間帯を広くとった緩やかな傾斜(写真③部)の3タイプを用意しました。





3 アイランドシティの外周緑地

アイランドシティの外周には、自然石を使った緩やかな傾斜の護岸を整備しており、海の生きもののすみかともなっています。また、海沿いには緑地と遊歩道を整備し、周辺の自然環境との調和を図るなど、水と緑に囲まれた快適なまちづくりを進めています。

まずはこの看板を探そう!!



アイランドシティ入口の看板

こんな所にも「みどり」があるんだ…



屋根を緑化したトイレ

散策しながら景色を楽しもう!!



緑と水に囲まれた遊歩道



海と緑が眺望できる休憩場



海上に張り出した親水デッキ



生きもののすみかとなる緩傾斜護岸

4 御島神社



御島神社は香椎宮の末社の一つであり、神功皇后が神事を行ったとされる地に社を祭ったのが始まりのようです。

古くは岩が多く、海上高くに社がありました。その後、岩が崩れ、現在のように平坦になり、北側の岩礁ほころに祠があるほか、南側の岩礁には石の鳥居が立っています。



御島の由来を探そう

御島は神功皇后が神事を行った所として「日本書紀」・「八幡本紀」などで伝えられています。



この看板を探しに香椎海岸へ出かけよう!!



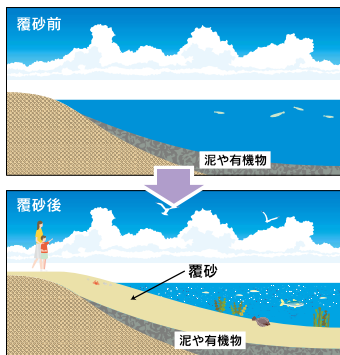
2年に1度の御汐井取りです。生で見たいワンシーン!!



写真提供:香椎タウンストーリー 柳瀬英昭氏

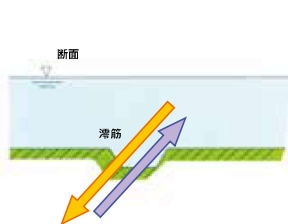
海の中の環境づくり(覆砂・作滞・アマモ場づくり)

ふくさ 覆砂



海底に堆積した泥を良質な砂で覆うことにより、生きものすみやすい環境を創造する工法です。

さくせい 作滞



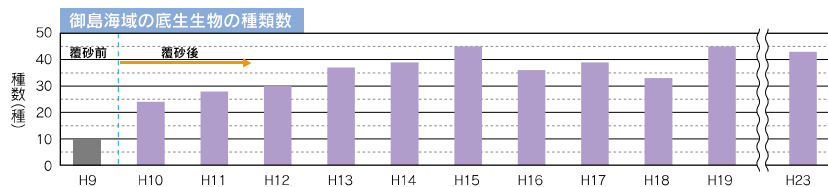
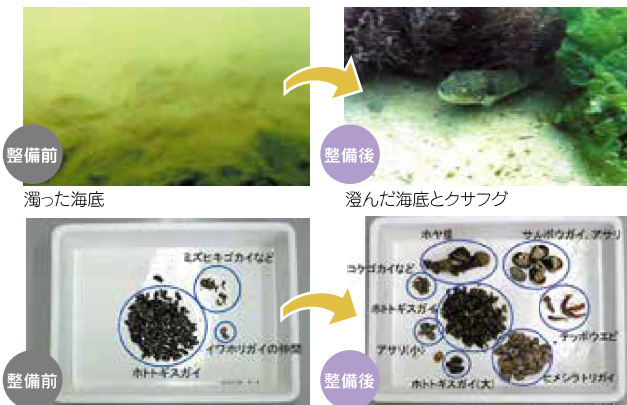
海底に水の通り道となる溝(滞筋)を掘ることにより、海水の交換を促進し、水質や底質を改善する工法です。



| 凡例 | |
|----|--|
| | 覆砂: 約15.6ha (平成9~11年度, 17年度) |
| | 作滞: 約1.3km (平成10年度, 12~13年度) |
| | アマモ場: 約2,650m ² (平成17~20年度) |

覆砂・作滞を実施した海の中は、こんなにきれいになって、たくさんの種類の生きものが見られるようになりました。

10年後でも自然豊かで生きものすみやすい環境が保たれていました。



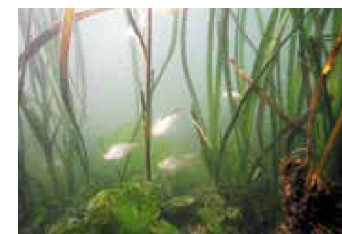
アマモ場の役割

アマモは砂泥質の浅い海に育ち、海中に酸素を放出するとともに、魚介類の産卵場や生息場になるなど「海のゆりかご」とも言われ、生きものすみやすい環境を創出する効果がある植物です。また、二酸化炭素を吸収する役割も持っています。



約80cmに生長

海の生きものがたくさん集まるアマモ場



アマモ場に集まるウミタナゴの群れ



コウイカ



アマモに産み付けられたイカの卵



市民参加によるアマモ場づくり

海域の特徴やアマモ場づくり活動(イベント)への参加者の年齢などに合わせて、苗の移植や種子の散布など様々な手法でアマモ場づくりに取り組んでいます。



アマモ育成ポットづくりの様子



アマモ育成ポット苗



アマモ種子粘土

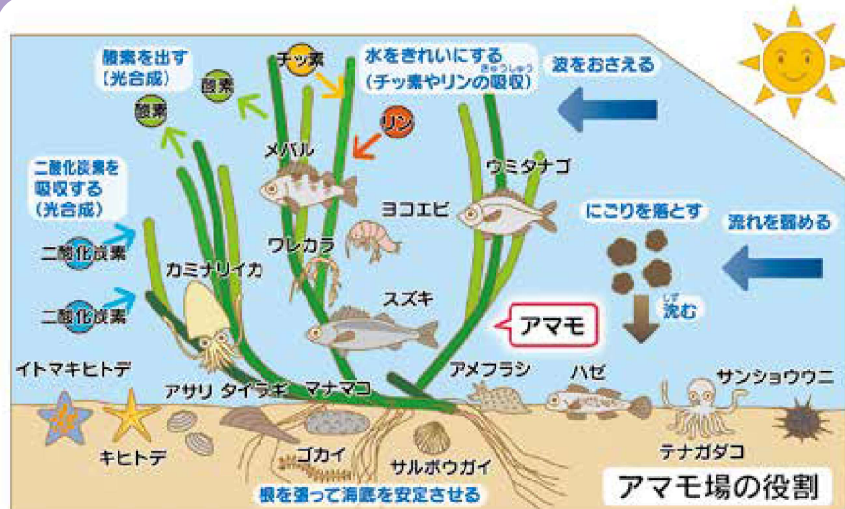


竹割りばしアマモ苗

海の中の環境づくりの効果

アマモ場の状況

平成30年5月のドローンによる空撮調査では、市民参加アマモ場づくりで植え付けたアマモの群落で魚の群れを確認し、水中調査ではアマモに産み付けられたイカの卵を確認しました。



出典: わたしたちのまちの環境



魚の群れ



イカの卵

生きもののすみかとなった自然石緩傾斜護岸

自然石を積み上げるなどして造ったアイランドシティの外周護岸は、石の隙間が生きもののすみかとなり、石の表面に付いた微生物による水質浄化効果も期待できます。護岸の表面にびっしりと付いたカキも水を浄化しています(P51)。

また、アイランドシティの外周護岸には、ワカメやタマハハキモク等の主に岩場で生育する藻場(P21)が形成されています。



アイランドシティ 自然石緩傾斜護岸 の効果 (平成19~21年度調査)

覆砂、作濡、アマモ場づくりなどの海の中の環境づくりや生きもののすみかとなる自然石緩傾斜護岸の整備などが実を結び、エコパークゾーンは多くの生きもののにぎわう海域となっています。

海藻・海草 18種類



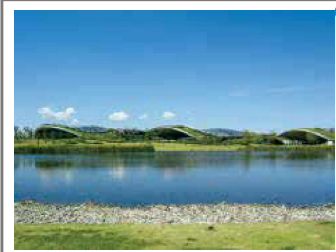
魚類など 67種類





ぐるっと一周3km 御島周回ルートで海を感じてウォーキング! 愛称は

アイランドシティ中央公園



花と緑をテーマにした「体験学習施設ぐりんぐりん」や、遊具が人気の「こどもの広場」、「芝生広場」などを楽しめます。ぐりんぐりんの屋上からは、360度の大自然で博多湾の景色を一望できます。

遊びに来てね!
ぐりんぐりん
待ってるよ!



アイランドシティコンテナターミナル



コンテナ船が364日24時間出入りする、最新の設備を備えた物流拠点。キリン柄のコンテナクレーンもあります!

7月には、ハイビスカスの仲間のハマボウが花を咲かせます。



ウォーキングの途中に探してみよう



それぞれの見どころを紹介した看板を見てね!



「御島グリーンベイウォーク」

海と歴史を感じることができる海辺歩行空間「御島グリーンベイウォーク」

アイランドシティと香椎ヶ丘をつなぐ全長約430mの「あいたか橋」が、平成25年3月に開通し、1周約3kmの周回ルートが完成しました。市内最大級の海辺歩行空間として、多くの人でにぎわっています。



季節を感じる心地いい風をあびながら、歩いたり走ったりしてみませんか。「あいたか橋」の途中には、休憩スペースが整備されており、見晴らしの良い海辺の景色が楽しめます。



あいたか橋から見える海には、「アマモ場」が広がっているんだよ。



御島神社



冬には、御島神社の鳥居付近でミヤコドリが休んでいることも。

香椎海岸



遊歩道から海岸へ足を運ぶと、たくさんの生きものに出会えますよ!